



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第10号

チーム玉幡

平成30年 9月11日(火)

校長 望月 和彦

「みんなで協力 燃えろ 玉小魂」

運動会に向けての取り組みが、職員の中では6月から、子どもたちの中では7月からスタートしています。子どもたちの最初の取り組みはテーマ決めです。すでに7月9日の代表委員会で児童会本部から3年生以上に本部原案が提案されていて、各クラスでの話し合いを受けて8月29日の代表委員会の中で、運動会のテーマが決まりました。今年度のテーマは「みんなで協力 燃えろ 玉小魂」です。今年度も素敵でカッコいいテーマになりました。



9月に入ると、校庭や体育館では、各学年の競争競技やリレーの練習、低中高のブロックごとの集団演技の練習も始まり、朝の会の時間には、「ゴーゴーゴー(運動会の歌)」があちこちから聞こえてきます。5日の赤白色別委員会では色別テーマも決まり、赤組・白組に分かれての競技や応援などの準備もスタートしました。5・6年生は全員が児童会本部、放送、保健、審判、準備、ライン、得点、キッズのいずれかの係に所属し、運動会運営上の役割を努めます。先週末にその役割分担も決まったところです。

運動会テーマについて、児童会本部の提案理由には「全校が絆を深めて、自分の力を出し切り、勝利を目指してがんばってほしいから」と書かれています。運動会までの取り組みや9月29日当日の発表を通して、児童一人ひとりが自分の持っているパワーを精一杯発揮し、玉幡小児童の絆が深まってくれることを期待しています。

すでに9月3日付で保護者の皆様宛に運動会の案内をお配りしました。安全で気持ちよく運動会を楽しんでいただくための「お願い」を熟読していただき、ご家族皆さんそろって、子どもたちの活躍をご覧になり、応援していただきたいと思っております。PTA本部役員の方々を中心に、PTA種目の準備もしてくれています。詳細については、後日お知らせが届くと思っておりますので、ふるってご参加をお願いいたします。

プールの授業も無事終了

前号でお知らせしたとおり、夏休み中のプールについては猛暑と藻の大量発生により予定の半分の日数しか



開設ができませんでした。お盆過ぎから始業式までの職員による藻の除去作業の結果、水質が改善し、8月27日から31日まで予定通りプールの授業を行うことができました。久しぶりの水の感触に子どもたちは大喜びしていました。低学年の子どもたちの様子を見ると、6月頃に比べ、長い時間もぐれるようになったり、長い距離泳げるようになったり、子どもたちの成長には驚かされます。6月から8月までの猛暑の中、たくさんの保護者の方々に監視ボランティアに来ていただけたおかげで、子どもたちにとって安全で楽しいプールになりました。本当にありがとうございました。

地震や火災に遭ったときの貴重な訓練

8月31日に大規模地震想定避難訓練を実施しました。今回は、1校時終了直後に大地震が発生したとの想定で、子どもたちには予告をせずに行いました。4・5・7月に避難訓練を実施したので、今回は4回目でした。子どもたちは大地震が発生した直後の一次避難(机の下など近くの安全な場所へ移動し、頭を守る)、揺れが一旦収まった後の二次避難(防災頭巾をかぶって、「おかしもあと」を守って校庭中央へ移動)がスムーズにできました。(二次避難放送から人員確認が終了するまでおよそ4分)学校生活では、教室以外



の場所にいることもあり、近くに教員がない時もあります。そのような時に、子どもたちは、自分自身で、今自分が置かれている状況を把握し、自分の身を守る最善の方法を判断し、行動しなければなりません。そのような力を育てる訓練を今後も実施していきたいと思えます。

その後、山梨県防災安全センターの方々の協力を得て、1年生と6年生は起震車体験、3年生と4年生は火災発生時の煙体験を行いました。起震車体験では、児童の希望により震度5程度～震度7までの地震の揺れを実際に体験しました。揺れの恐ろしさを実感するとともに、大きな地震の際は机の下に潜るだけでなく、両手で机の脚を床に固定するようにしがみつくとことやあぐらをかいて体を安定させることなどを教えてもらいました。煙体験は、理科室の中を特殊な機械で煙を充満させ、その中を子どもたちが指示通りに移動してみる体験でした。外は明るいのに、理科室の中は煙で50cm先の人の顔もわからないほどでした。姿勢をできるだけ低くして、ハンカチなどで口や鼻を押さえながら移動することや出口がわからない場合は壁を伝って進むと良いことなどを教えてもらいました。普段経験できない貴重な体験でした。



9月6日には「北海道胆振東部地震」が起き、北海道では多くの尊い人命が失われ、たくさんの負傷者や建物、道路、農地などの損壊が発生しました。一日も早い人々の救助とくらしの復興を願うとともに、この災害を私たちが住む身近な地域での地震発生時の教訓にしなければなりません。

9月4日は台風のため、半日で授業を打ち切り、集団下校としました。ご協力ありがとうございました。

9月4日には猛烈な勢いの台風21号が本州を襲いました。前日3日の段階で市教育委員会と協議の上で、4日の半日授業と集団下校を決定し、保護者に文書と安心メールで連絡させていただきました。通常より早くの下校や児童館の受け入れ中止で、保護者の皆様にはご不便をおかけしたと思いますが、教職員が登校班に付き添い無事に全員を帰宅させることができました。集合場所まで向かえに来てくれた保護者の方もいらっしゃいました。今後も暴風雨や大雪の時には同じような対応もあることをご承知おきください。（なお、臨時休業や授業の打ち切りの場合は、児童館の受け入れは中止となります。）



廊下は子どもたちの作品展示室

現在、校舎の廊下には各学年や学級の夏休み中の課題作品や授業の中で制作したものがいろいろと飾ってあります。工作、自由研究、絵日記、習字、文章など。それぞれの作品からは、作品に込められた子どもの思いや作品を制作しているときの子どもの気持ちが想像でき、とてもおもしろいです。ポスターや作品をつくった子どもには、先生や友だちからいろいろな感想や評価が伝えられていると思いますが、作品を持ち帰ったときにはご家族の方々からも温かい感想を伝えてあげてください。なお、外部団体主催の応募作品については、学校からそれぞれの主催者に出品されています。



2年生夏休み工作 ↓



4年生自由研究 ↓



6年生短歌作品 ↓

↑ 1年生図工作品



↑ 3年生夏休み工作



↑ 5年生自由研究

